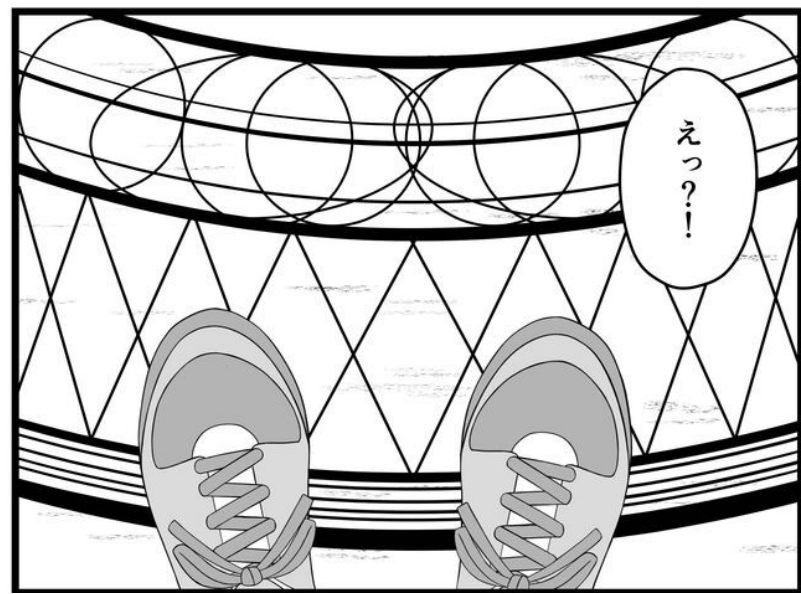
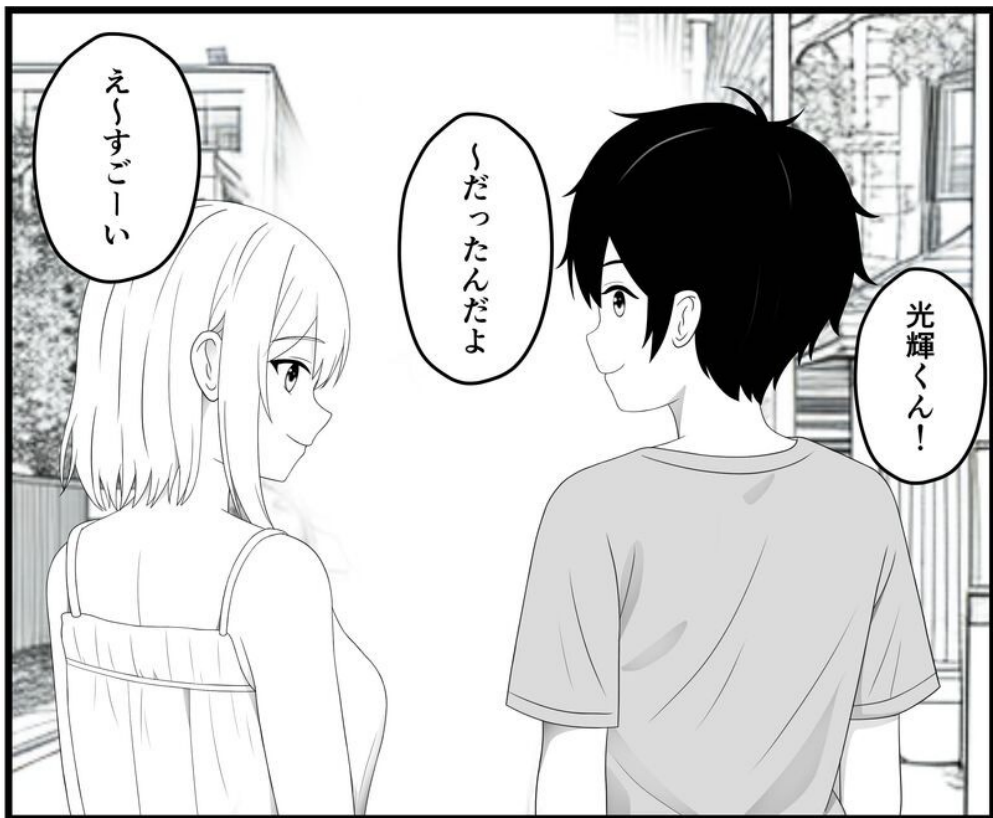




異世界に転生したら

魔法使いのお姉さんに

筆おろしされた件





どっどんどん？
森！？



なっ
何がおきてっ！



グルルルル



なっなんの音？！

グルルルル



うわあああ〜！



イヤッ！来ないで！

おっオオカミッ？



うわあああ!



君…大丈夫?



えっ!



なっなんで!



きつきれい…



こんなところに
一人でいるなんて…
死んじゃうよ？



君：弱そうなのに
なんでこんな所に
いるの？



あっありがとうございます

ふふっいいわ…
連れて行ってあげる…



気付いたら
ここにいて…

わっ分かりません



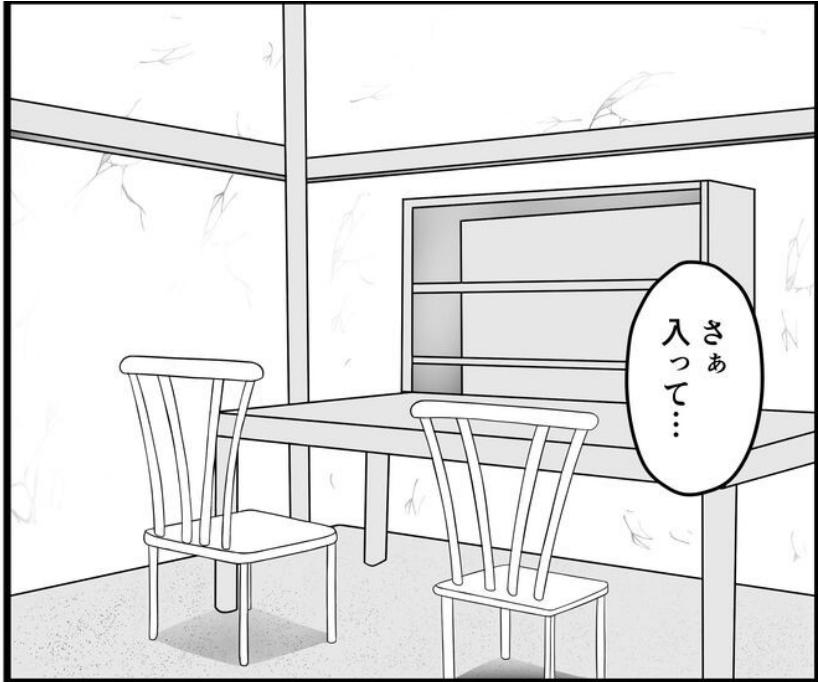
あっあの！
お姉さんっ！

どこか…
町まで…
連れていってくれませんか？



うわあ
女の人の家
に入るの初めて…

なんか…
いい匂いだなあ…



さあ
入って…



すごく
汚れちゃってるし…

お風呂に
入っちゃいましょう



君のことについて
話そうと思ったけど…

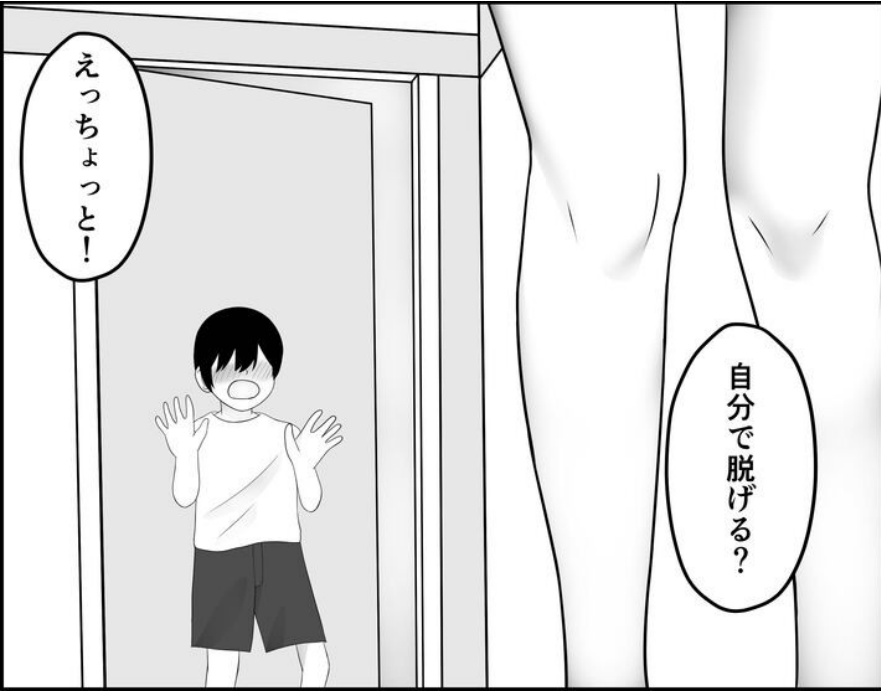


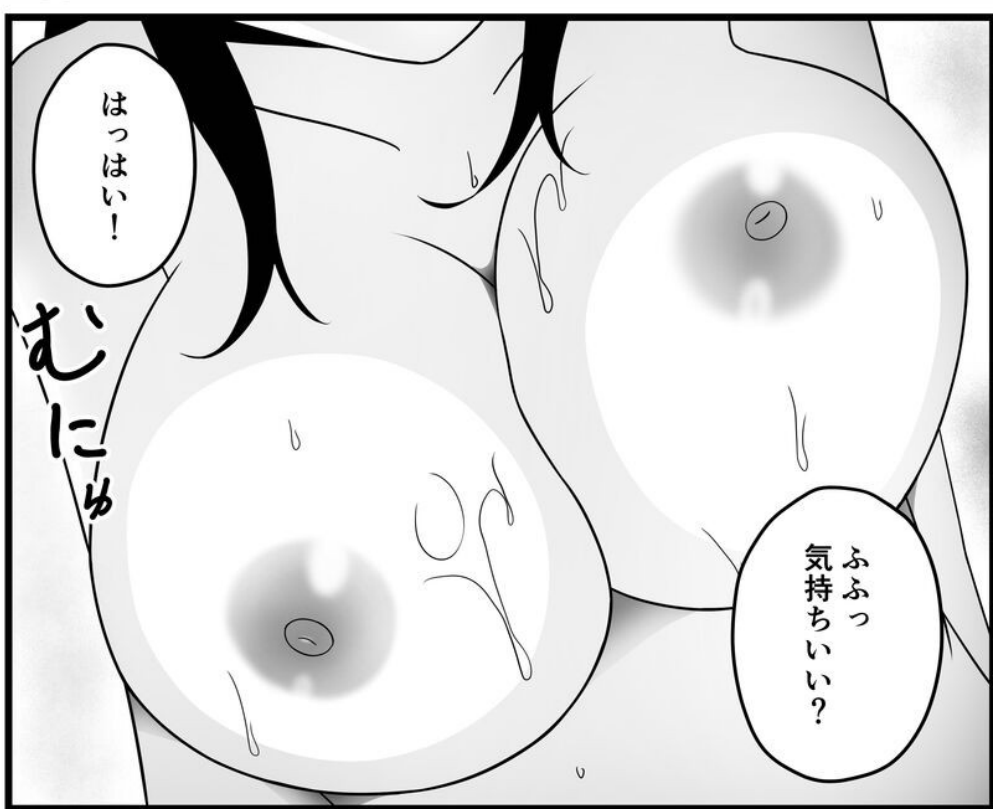
ええ
そうよ

恥ずかしいかしら？



おっお風呂!!







エッチな子だね…

お姉さんのこと見て
大きくしちゃったんだ…



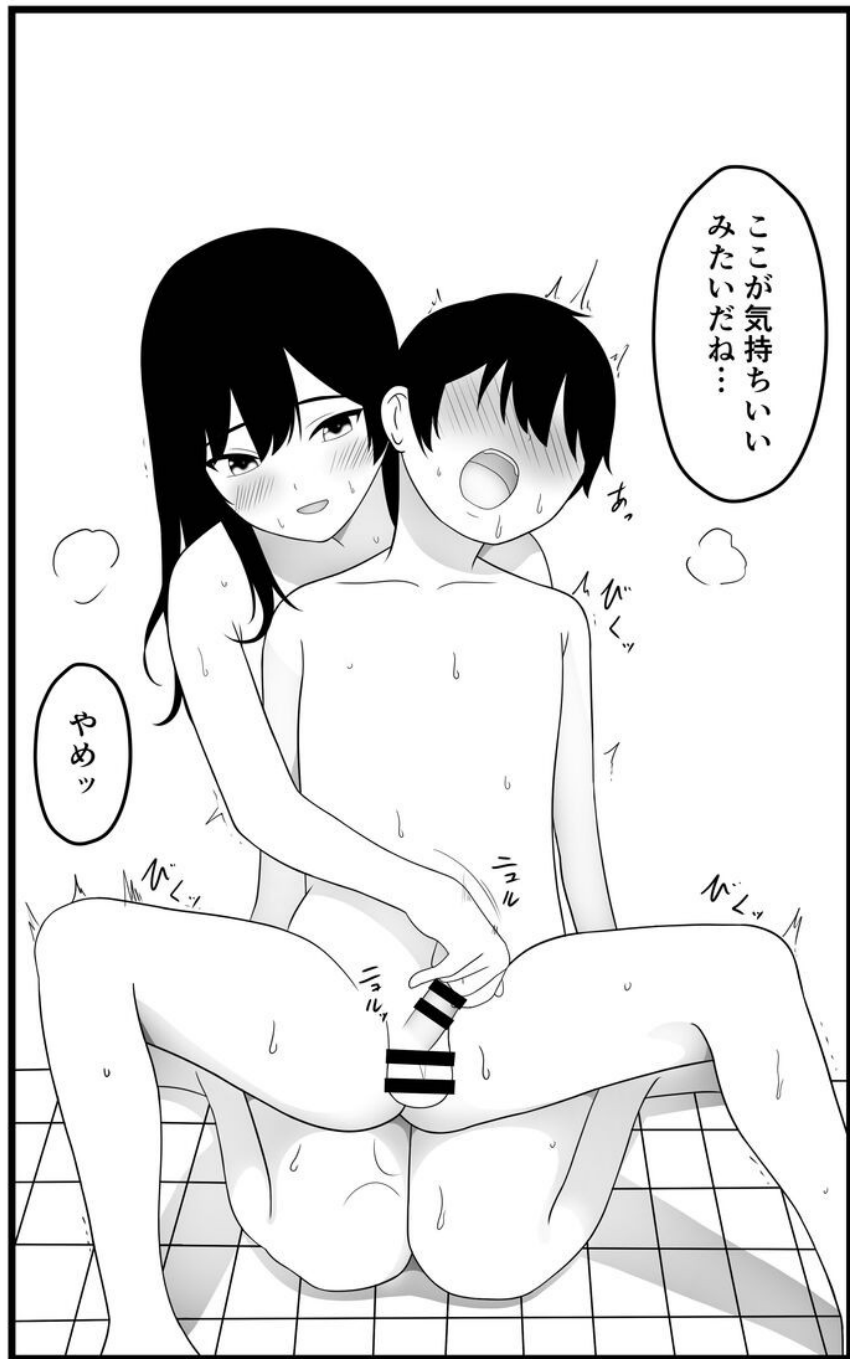
あッ…!

バレちゃった
お姉さんに…

ごっごめんさい



すっごい
ビクビクしてる

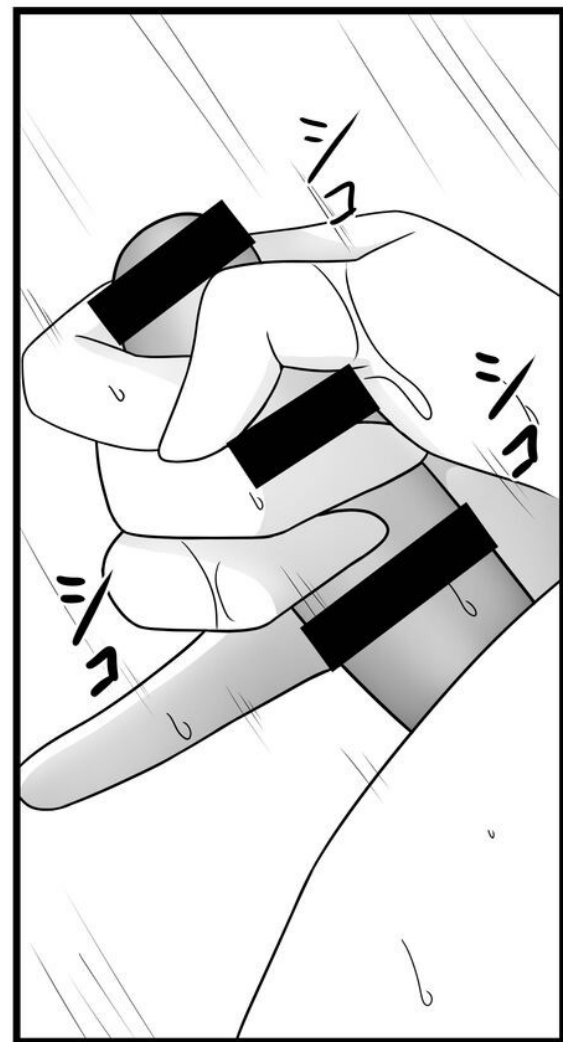


ここが気持ちいい
みたいだね…

やめッ



どう?
気持ちいい?







もうっ
焦りすぎよ



君の好きな
おっぱいで
気持ちよくしてあげる

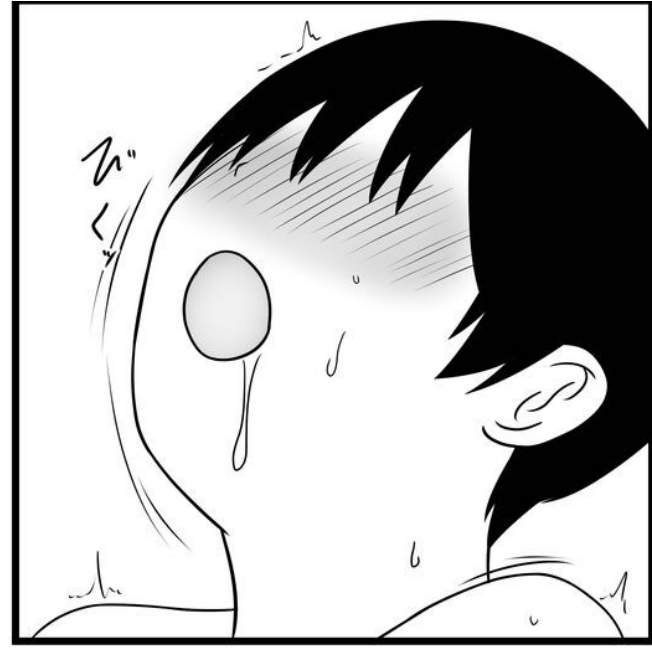




こんなにさらされたら

もうっ
こんなに出しちゃって

たふん

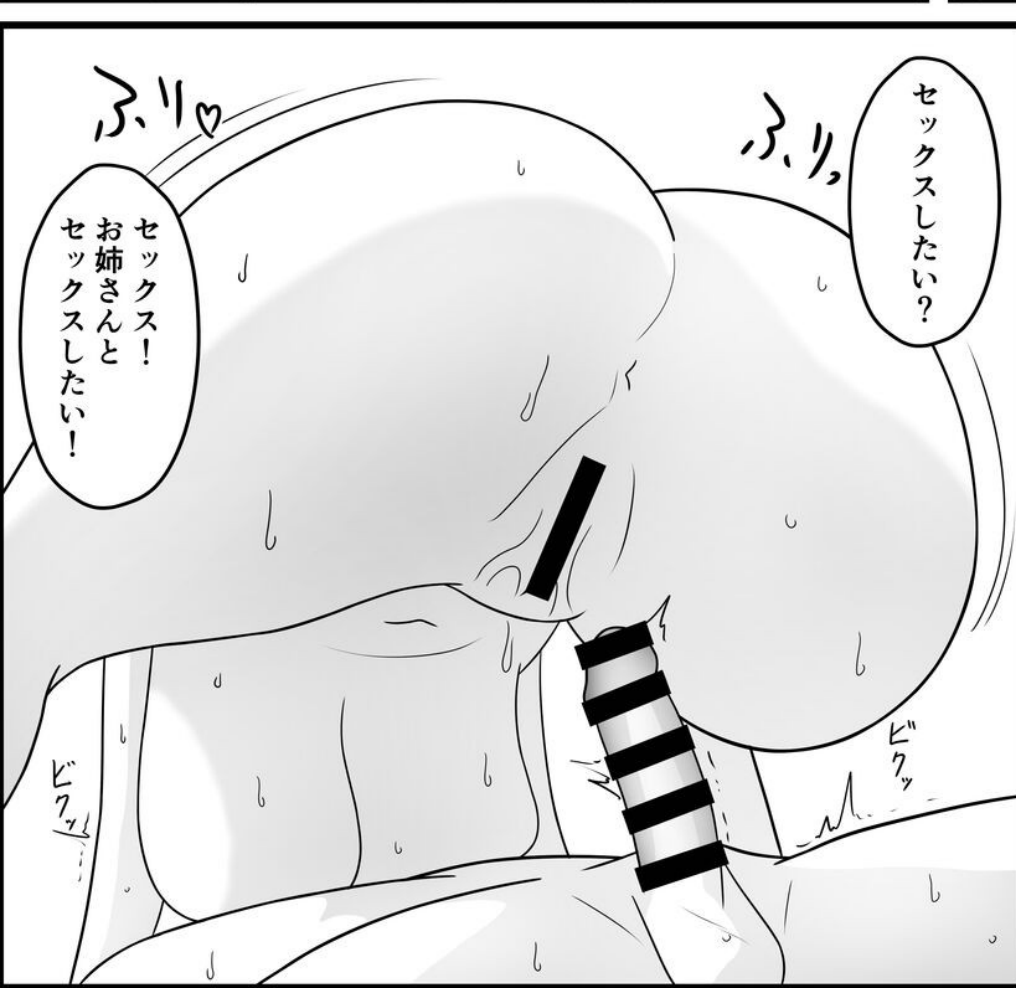


びく



ドビュ

ドビュッ



ふり

ふり

セックスしたい？

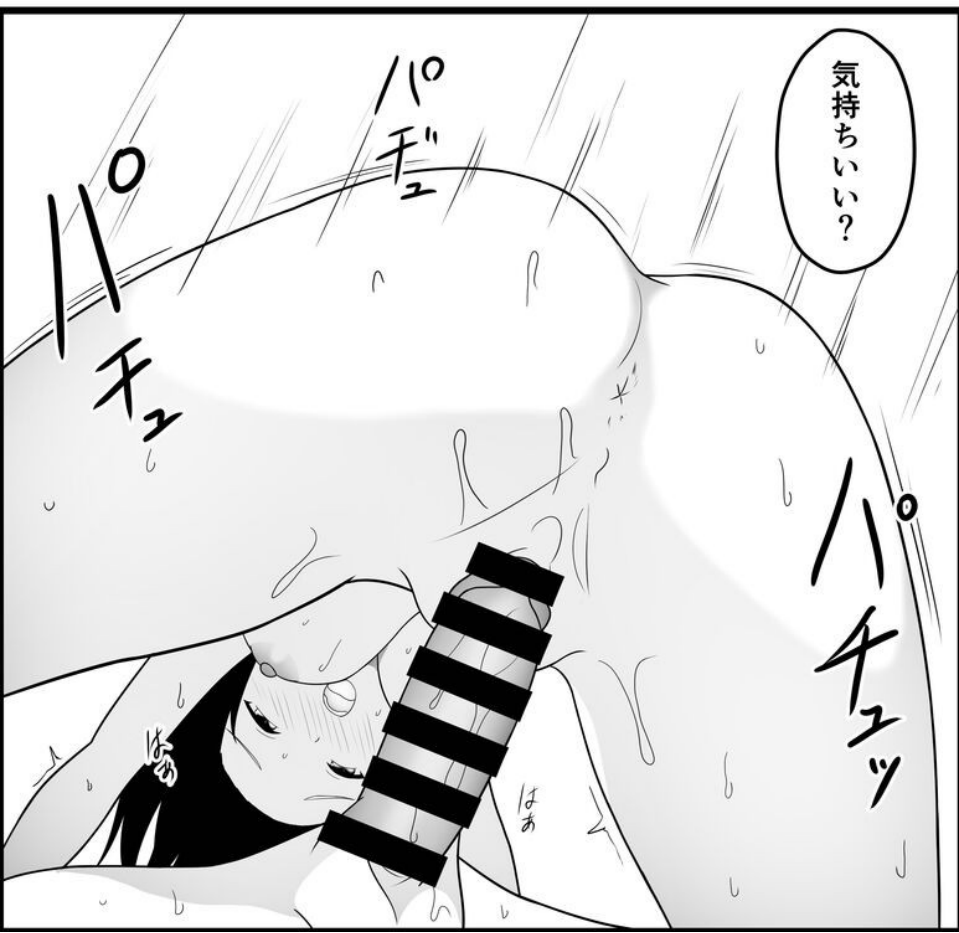
セックス！
お姉さんと
セックスしたい！

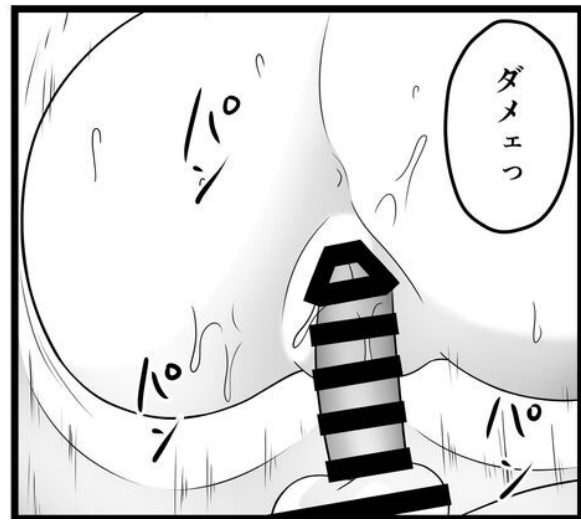


我慢で出来ない
じゃない！



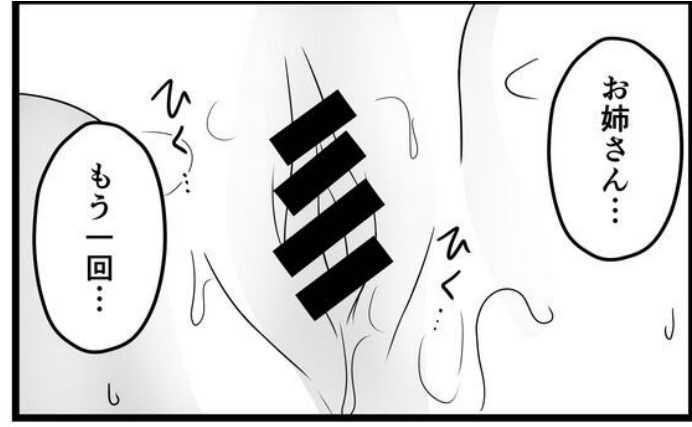
お姉さんっ！





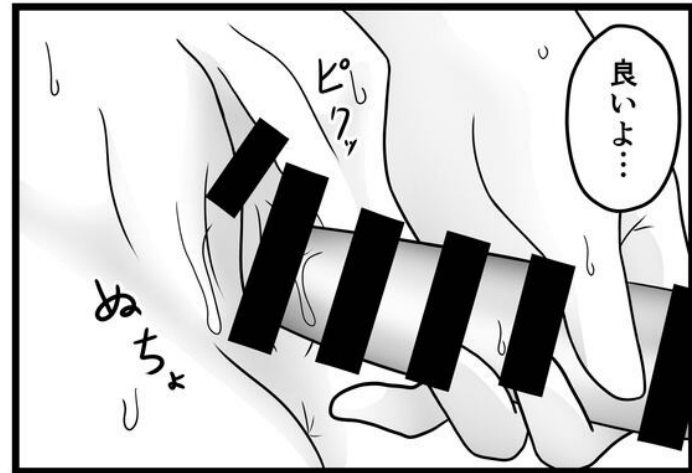


今度は君の好きな用に動いてみて!



もう一回...

お姉さん...

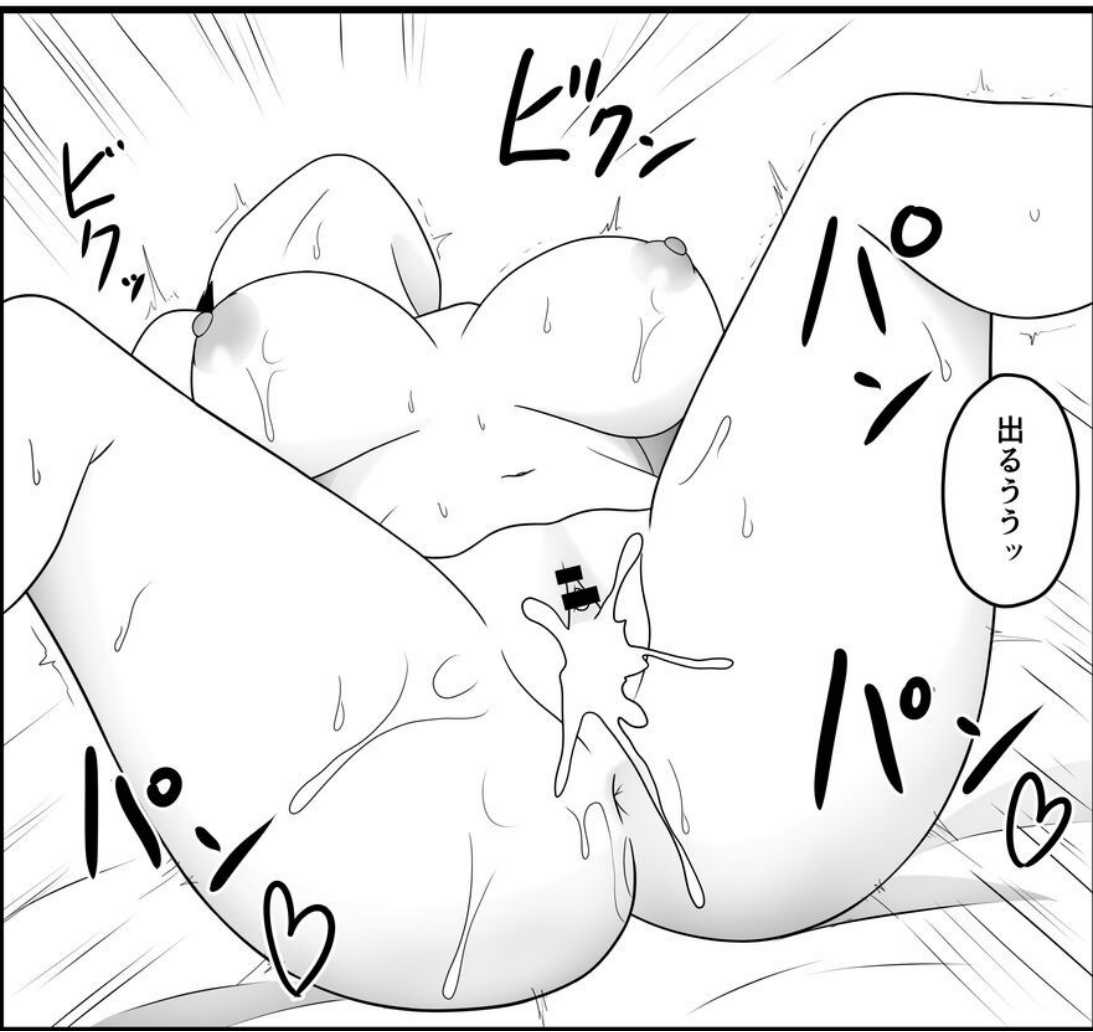
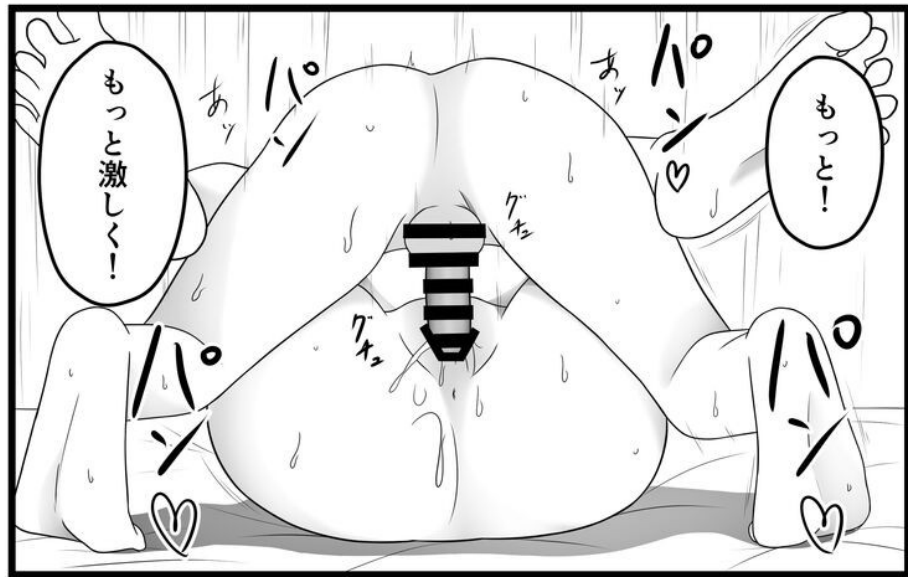


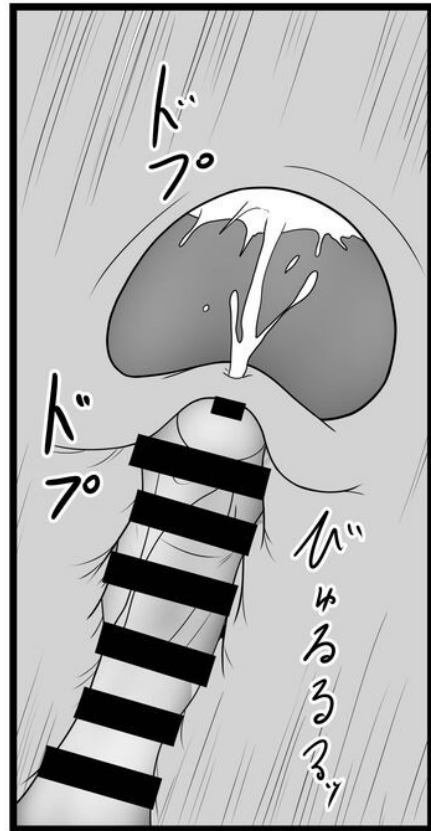
良いよ...



お姉さん...好き!

好き!







ありがとうございます



たくさん出せたね
すごいよ...



ほんとにおっぱい好きね...

もう...